

P-B-4

遷延性意識障害における低温岩盤浴療法の効果について

Effects of Low Temperature Bed-Rock-Bath Therapy on Vegetative Patients .

○篠崎 洋二¹⁾、福本 悟¹⁾、笠原 真悟²⁾、佐野 俊二²⁾、荻野 景規³⁾

1) 医療法人篠洋会 篠崎クリニック, 2) 岡山大学医歯薬学総合研究科 心臓血管外科,
3) 岡山大学医歯薬学総合研究科 公衆衛生学

About 4 vegetative patients and 6 consciousness disorder examples (8 cerebral infarction, 2 cerebral hemorrhage examples), were driven with the 40 minutes, low temperature bed-rock bath therapy. Regardless of the cause, disturbance of consciousness, all patients were recovered from consciousness disorder. Disturbance of consciousness (vegetative state) to 4 patients awareness level shows a marked improvement, State of arousal, showed reduction of brain edema and ischemic changes in MRI STIR images.

【目的】

1994 年の米国の遷延性意識障害（植物状態）に関する多学会特別委員会では、脳外傷後又は酸素欠乏後 3 ヶ月を経過しても意識改善の兆候がみられない患者は回復の見込みがゼロに近いとされ、遷延性植物状態と定義している。我々は脳損傷により引き起こされる血液循環障害が慢性的な脳虚血を増強して脳萎縮を増悪する因子となる可能性が高いと考え、星状神経節ブロック(以下 SGB)を併用し、微細循環と免疫力を改善すると考えられる低温岩盤浴療法を行った。その結果 10 例（遷延性植物状態 4 例）にいて、全例に意識レベルの回復とともに ADL の改善が得られたので報告する。

【対象】

評価可能な 10 例の意識障害の当院入院患者（うち 4 例は遷延性意識障害）について、SGB 及び低温岩盤浴療法を行い、評価を行った。また重症の 2 例については赤外線療法を併用した。

【方法】

遷延性意識障害の入院患者 10 例（脳梗塞 8 例、脳出血 2 例）について、週 2 回以上の SGB を併用して、1 日 1～2 回、39℃、40 分の低温岩盤浴療法を行なった。治療前後において効果判定を行ない、改善しても引き続き治療を継続した。

【結果】

原因によらず、意識障害は全例回復を示した。遷延性意識障害（植物状態）4 例については意識レベルは著明な改善を示し、覚醒状態となり、1 例は歩行可能となった。また CT において脳浮腫の軽減が見られ、MRI の STIR 像における虚血性変化の軽減が見られた。

【結論】

遷延性意識障害（植物状態）は外傷後や卒中後の合併症としてもっとも重篤なものであり、延々と持続することが問題とされ、安楽死の問題と絡んで倫理的に重大な問題である。とくに外傷後の意識障害は独立行政法人自動車事故対策機構 (NASVA)によりコントロールされているが、一定の効果を収めている。今回、我々の SGB-低温岩盤浴療法により 4 例全例が意識障害が改善し、また急性期の意識障害に対しても早急な改善が見られたことにより、適応を検討すべき方法と考える。